

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立富士見台小学校

【社会】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力・表現力が不十分である。表やグラフなどの資料を読み取り、それを活用することが苦手な児童が多い。</li> <li>・社会的事象に対する興味・関心は高い。意欲的に学習に取り組む児童が多い。</li> <li>・町探検や昔の道具体験など、体験を通じた学習は定着している。</li> <li>・実際に体験できない社会的事象については、知識として身に付けていても、理解が十分ではない。</li> <li>・既習事項も、時間がたつと忘れてしまう児童が多い。</li> </ul>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力・表現力を養う指導が不十分である。資料を読み取り、それを活用するための指導が十分ではない。特に、複数の資料を組み合わせる考える指導の仕方については、大きな課題がある。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で調査や見学活動などの体験的な活動が取り入れにくく、社会的事象を実感的に捉えさせることが十分にできていない。</li> <li>・事象について、調べるための豊富な資料を確保することが難しい。</li> </ul>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p><b>◇思考力・表現力を育成し、実感的に捉えさせる。</b></p> <p>○問題解決型・探究型の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にあるスーパーマーケットや商店、企業に協力を求め、児童の興味関心から課題を設定した学習を展開する。</li> </ul> <p>○協働学習の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや写真、統計などの資料を多面的に捉え、論点を明確にして考えを繋げていくことを通して、社会的事象を適切に把握し、捉えられるようにする。</li> </ul> <p>○指導と評価と支援の一体化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を読み取る活動、まとめる活動、発表する活動の過程で個別に指導する。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の見方について、どの資料からどんなことが言えるのか、自分の考えはどの資料で根拠付けられるのかを意識した問いかけを行い、資料活用能力を高める。</li> <li>・資料をよく読み、理解し、必要な情報を整理する経験をもたせ、その手法を身に付けさせる。</li> <li>・状況に合わせてリモートや分散などの形で社会科見学を取り入れ、現地の声を生で聞く機会を増やし、学習理解を深める。</li> </ul> <p><b>◇社会的な事象について考えさせ、表現する力を育てる。</b></p> <p>○問題解決型・探究型の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる活動では、複数の資料を準備し、比較したり、関連付けたりして考えられるようにする。</li> </ul> <p>○協働学習の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論点に沿って資料を読みとり、考えを繋げながら、資料から全体的な傾向を考えたり、複数の資料を関連付けて読み取ったりできるようにする。</li> </ul> <p>○指導と評価と支援の一体化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる活動やまとめる活動では、的確な資料を選択し、それらの資料から大切なところを読み取ることができるよう支援する。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロームブックやミニホワイトボードを活用し、思考を共有しやすくし、互いの考えを深められるようにする。</li> </ul> <p><b>◇既習事項を振り返る時間を取り、確実に定着させる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関連のある話題の際に、既習事項を絡めて学習を進める。また、前学年の既習事項を振り返る時間を授業に取り入れる。</li> </ul>